

下水道施設維持管理業務特記仕様書

(目 的)

第1条 本仕様書は、下水道施設維持管理特記仕様書（以下「特記仕様書」という。）について、特に必要な事項を定めることにより、業務の円滑な遂行を図ることを目的とする。

(施設の概要)

第2条 下水道施設にある播磨高原浄化センター（以下「浄化センター」という。）は、流入した下水を、オキシデーションディッチ法処理施設及び循環式硝化脱窒法施設による生物処理を行い、塩素滅菌後放流管を経て上郡2号下水路へ放流するものであり、水質汚濁防止法に基づく排水基準を遵守し、また浄化センター放流管理目標基準を満足させるよう適切な運転操作と施設の保守を行うこととする。

放流管理目標基準

	管理目標水質 (mg/l) (年間平均)
BOD	8.0
SS	6.0
T-N	10.0
T-P	0.5

下水道施設の各施設の概要は以下のとおりである。

(1) 播磨高原浄化センター

○住所：赤穂郡上郡町光都3丁目4番1号

1) 管理棟施設

①配電設備②監視設備③その他の付随する設備・制御盤等

2) オキシデーションディッチ法処理施設（平成2年度供用開始）

（現状処理能力 1,600 m³/日（供用施設 800 m³/日））

ア) スクリーン水路施設

①細目自動除塵機②その他の付随する設備・制御盤等

イ) オキシデーションディッチ施設（2号槽供用中）（1号槽休止中）

①返送汚泥分配可動堰②流入・流出可動堰③曝気機④ディッチ流入流量計

⑤その他の付随する設備・制御盤等

ウ) 最終沈殿池施設（2号槽供用中）（1号槽休止中ただし共用施設は稼働中）

①PAC注入機②PAC貯留タンク③返送汚泥ポンプ④余剰汚泥ポンプ⑤床排水ポンプ

⑥汚泥掻寄機⑦PAC貯留液位計⑧その他の付随する設備・制御盤等

3) 循環式硝化脱窒法処理設備（平成11年度供用開始施設）

（現状処理能力 1,900 m³/日（供用施設 1,900 m³/日））

ア) 分水ゲート施設

- ①分配可動堰

イ) 沈砂池ポンプ棟施設

- ①汚水ポンプ②自動除塵機③揚砂ポンプ④スカム破砕機⑤汚水流入ゲート
⑥ポンプ井連絡ゲート⑦沈砂分離機⑧ポンプ井水位計⑨汚水ポンプ揚水量計
⑩流入渠水位計⑪その他の付随する設備・制御盤等

ウ) 最初沈殿池施設

- ①初沈汚泥ポンプ②初沈管廊排水ポンプ③初沈池排水ポンプ④初沈スカム移送ポンプ
⑤初沈スカムスキマ⑥初沈汚泥掻寄機⑦初沈引抜汚泥濃度計⑧初沈汚泥量計
⑨その他の付随する設備・制御盤等

エ) 生物反応槽施設

- ①ブロワー②生物反応槽攪拌機③循環水ポンプ④生物反応槽管廊排水ポンプ
⑤生物反応槽流入可動堰⑥脱臭塔⑦脱臭ファン⑧DO計⑨MLSS計⑩PH計
⑪循環水量計⑫生物反応槽空気量計⑬生物反応槽水温計⑭送風機圧⑮送風温度計
⑯その他の付随する設備・制御盤等

オ) 最終沈殿池施設

- ①返送汚泥ポンプ②余剰汚泥ポンプ③終沈排水ポンプ④終沈管廊排水ポンプ
⑤終沈スカム移送ポンプ⑥PAC注入機⑦PAC貯留タンク⑧終沈スカムスキマ
⑨終沈汚泥掻寄機⑩終沈汚泥界面計⑪終沈汚泥量計⑫返送汚泥濃度計⑬返送汚泥量計
⑭余剰汚泥量計⑮その他の付随する設備・制御盤等

4) その他の設備

ア) 連絡配管管廊施設

- ①連絡配管廊排水ポンプ

イ) 急速ろ過池施設（平成2年度供用開始）

- ①逆洗ポンプ②逆洗排水ポンプ③空気洗浄ブロワ④計装用コンプレッサー
⑤床排水ポンプ⑥給水ユニット⑦次亜塩素注入ポンプ⑧次亜塩素貯留タンク
⑨ろ布洗浄ポンプ⑩除湿機⑪滅菌機⑫各種弁⑬ろ抗計⑭T-N・T-P計
⑮負荷量演算器⑯放流流量計⑰有機物モニタUV計
⑱その他の付随する設備・制御盤等

ウ) 汚泥濃縮施設（平成29年度供用開始）

- ①濃縮スカムポンプ②濃縮汚泥ポンプ③分離液ポンプ④スカム分離機⑤汚泥スクリーン
⑥濃縮汚泥掻寄機⑦濃縮汚泥濃度計⑧濃縮汚泥流量計
⑨その他の付随する設備・制御盤等

エ) 汚泥処理棟施設（平成4年度供用開始施設）

- ①汚泥脱水機②汚泥供給ポンプ③薬品供給ポンプ④ろ液ポンプ⑤床排水ポンプ
⑥計装用コンプレッサー⑦計装用空気除湿機⑧空気槽⑨薬品溶解槽⑩粉体自動給粉機
⑪ケーキコンベア⑫ケーキホッパー⑬給気ファン⑭脱臭ファン⑮脱臭塔
⑯汚泥供給量検出計⑰薬品供給量計⑱ケーキホッパー重量計⑲ろ液貯留液位計
⑳汚泥貯留量液位計㉑その他の付随する設備・制御盤等

(2) マンホールポンプ（平成7年度供用開始）

○住所：たつの市新宮町光都3丁目462-127

1) 水中ポンプ×2基 交互運転

（全揚程8m・吐出量0.78m³/分・原動機出力3.7kw回転速度1,750rpm）

2) その他の付随する設備・制御盤等

（保守点検業務）

第3条 業務委託一般仕様書（以下「仕様書」という。）第24条に係る保守点検業務について定めるものとする。保守点検を実施するにあたり第4項第1号及び第2号の規定に基づき「運転日報（仮称）」、「各種定期点検記録簿（仮称）」を、仕様書第41条に基づき作成し、点検終了後発注者の監督員（以下「監督員」という。）に提出する。同様に「下水道設備点検結果報告書（仮称）・下水道設備故障報告書（仮称）」を作成し、異常等、特筆すべき内容並びに監督員から特に指示があった事項については、その都度臨時点検を実施し、監督員に提出する。なお、点検の内容については、「下水道施設維持管理指針－（社団法人日本下水道協会 最新版）」に準拠するものとする。

2 「下水道設備点検結果報告書（仮称）・下水道設備故障報告書（仮称）」にて報告された内容により仕様書第24条第2項に基づき簡易な故障修理を実施する。実施した内容については、「下水道設備修理結果報告書（仮称）」を仕様書第41条に基づき作成し、監督員に提出する。なお、他業者（機械・電気設備等製造業者・専門業者等）による調整が必要と認められるもの、監督員から別の指示があるものについては、仕様書第24条第2項に基づく簡易な故障修理は実施しない。「下水道設備点検結果報告書（仮称）・下水道設備故障報告書（仮称）」にて報告した内容により、仕様書第24条第2項に基づく簡易な故障修理を実施するにあたり、必要な材料、部品、資材等については、仕様書第41条に基づき、「手配依頼書（仮称）」を作成し、監督員に提出する。

3 保守点検業務にて実施した内容は、仕様書第39条の「月間業務完了報告書」に添付し発注者に提出する。なお、その都度、監督員に提出する「下水道設備点検結果報告書（仮称）・下水道設備故障報告書（仮称）」並びに「手配依頼書（仮称）」は除くものとする。

4 保守点検業務の内容

(1) 保守点検業務のうち日常点検について定めるものとする。以下に記す施設の設備及び機器の運転状態について、異常の有無、兆候を発見するため、原則として毎日行う点検をいう。主に目視、触感、確認、調整、及び記録等の作業を実施し、「運転日報（仮称）」にとりまとめ、浄化センターの適正な運転管理の資料とするものとする。また、汚泥処理棟施設における脱水機運転の際は、「脱水機運転日報（仮称）」を作成し、「運転日報（仮称）」同様にとりまとめる。

1) 対象施設：播磨高原浄化センター

①管理棟施設

②スクリーン水路施設

○細目自動除塵機

③オキシデーションディッチ施設

○返送汚泥分配可動堰

○流入、流出可動堰

○曝気機

④最終沈殿池施設（オキシデーションディッチ側）

- PAC注入機・貯留タンク
- 返送汚泥ポンプ
- 余剰汚泥ポンプ
- 汚泥掻寄機

⑤分配ゲート施設

- 分配可動堰

⑥沈砂池ポンプ棟施設

- 汚水ポンプ
- 自動除塵機
- 揚砂ポンプ
- スカム破碎機

⑦最初沈殿池施設

- 初沈汚泥ポンプ
- 初沈汚泥掻寄機
- 初沈スカムスキマ

⑧生物反応槽施設

- ブローア
- 生物反応槽攪拌機
- 循環水ポンプ
- 生物反応流入可動堰
- 脱臭塔・脱臭ファン

⑨最終沈殿池施設

- 返送汚泥ポンプ
- 余剰汚泥ポンプ
- PAC注入機・貯留タンク
- 終沈汚泥掻寄機
- 終沈スカムスキマ

⑩急速ろ過施設

- ろ過施設本体
- 逆洗ポンプ
- 逆洗排水ポンプ
- 空気洗浄ブローア
- 計装用コンプレッサー・除湿機
- 給水ユニット
- 各種弁
- 滅菌機

⑪汚泥処理棟施設（汚泥処理運転の都度）

- 汚泥脱水機
- 汚泥供給ポンプ

○ろ布洗浄ポンプ（急速ろ過施設）

○ケーキコンベア

○ケーキホッパー

○給気ファン

○ろ液ポンプ

○計装用コンプレッサー

○ドライヤー（除湿機）

○床排水ポンプ

○薬品混和槽攪拌機

○汚泥凝集剤混和槽攪拌機

○空気槽

⑫汚泥濃縮棟施設（濃縮スカムポンプ、分離液ポンプは、運転の都度）

○濃縮汚泥ポンプ

○濃縮汚泥掻寄機

○汚泥スクリーン

○スカム分離機

2) 点検内容

各計器の電流・電圧等、外観、振動、異音、異臭、変色、変形、発錆、損傷、汚損等の確認等
その他各機器において必要とする事項

（2）保守点検業務における各種定期点検について定めるものとする。以下に記す施設の設備及び機器について、損傷、腐食及び摩耗状態を把握し、修理、修繕等の保全計画を立てるため、1ヵ月、3ヶ月、1年等期間を定めて行う点検である。主として、各種機器が正常に作動するよう調整、給油、消耗部品の交換、補充、清掃、防錆塗装等の整備をする。

1) 月例点検（原則として毎月1回以上行う点検をいう。）

それらの内容を「定期点検記録簿（月例点検記録簿）（仮称）」にとりまとめる。

ア) 対象施設：播磨高原浄化センター

①スクリーン水路施設

○細目自動除塵機

●駆動部

電流値・モーターの確認、駆動チェーンの確認、減速機の確認、駆動機構部の確認、
回転スクリーンの確認

●油脂類

駆動チェーンにおけるグリスの確認・補充、各軸受のグリスの確認・補充

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

●その他必要とする事項

②オキシデーションディッチ施設（2号槽を対象）

○曝気機

●駆動部

電流値・周波数（高速時）・モーターの確認、駆動チェーンの確認、減速機の確認

駆動機構部の確認

●油脂類

減速機におけるオイルの確認・補充、チェーンバスにおけるオイルの確認・補充、
各軸受におけるグリスの確認・補充

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

●その他必要とする事項

③最終沈殿池施設（2号槽並びに1号槽共用施設対象）（オキシデーションディッチ法処理設備）

○PAC注入機・貯留タンク

●ポンプ部

電流値・周波数・検流器の動作確認、ポンプの確認

●油脂類

作動油の確認・補充、駆動部におけるオイルの確認・補充

●現場盤

現場盤表示灯の確認、盤内の確認

●その他必要とする事項

○返送汚泥ポンプ

●ポンプ部

電流値・吐出圧・メカシールの確認、ポンプの確認、チャッキ弁の確認、
封水弁の動作の確認、駆動Vベルトの確認

●油脂類

オイルの確認・補充

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

●その他必要とする事項

○余剰汚泥ポンプ

●ポンプ部

電流値・吐出圧・メカシールの確認、ポンプの確認、チャッキ弁の確認、
封水弁の動作の確認

●油脂類

オイルの確認・補充

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

●その他必要とする事項

○床排水ポンプ

●ポンプ部

電流値・吐出圧力・ポンプの確認、チャッキ弁の確認

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

●その他必要とする事項

○汚泥掻寄機

●駆動部

電流値・モーターの確認、減速機の確認、駆動機構部の確認

●油脂類

減速機におけるグリスの確認・補充、各軸受におけるグリスの確認・補充

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

●その他必要とする事項

④急速ろ過施設

○空気洗浄ブロワー

●駆動部

電流値・吐出圧・モーターの確認、ブロー駆動部の確認、駆動Vベルトの確認

●油脂類

駆動部におけるオイルの確認・補充、各軸受部におけるグリスの確認・補充

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

●その他必要とする事項

○計装用コンプレッサー

●駆動部

設定動作圧力の確認、モーターの確認、安全弁の動作の確認、駆動ベルトの確認、
制御圧力の確認、オートドレーン動作確認

●その他必要とする事項

○逆洗排水ポンプ

●ポンプ部

電流値・吐出圧・ポンプの確認、チャッキ弁の確認

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

●その他必要とする事項

○逆洗ポンプ

●ポンプ部

電流値・吐出圧・ポンプの確認、チャッキ弁の確認、グラント部の確認
カップリング確認

●油脂類

オイルの確認・補充

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

●その他必要とする事項

○給水ユニット

●ポンプ部

電流値・吐出圧・メカシールの確認、ポンプの確認

- 現場盤
表示灯の確認、盤内の確認

- その他必要とする事項

○床排水ポンプ

- ポンプ部

電流値・吐出圧・ポンプの確認、チャッキ弁の確認、水位制御の確認

- 現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

- その他必要とする事項

○除湿機

- 駆動部

除湿湿度・異常音・異常振動等の確認、冷媒漏れの確認、冷却ファンの確認、
オートドレーンの動作確認

- その他必要とする事項

⑤汚泥処理棟施設

○汚泥脱水機

- 駆動部

電流値・回転数・ろ布速度・モーターの確認、減速機の確認、駆動機構部の確認、
ろ布緊張シリンダーの確認、蛇行検出装置の確認、駆動チェーンの確認、
ろ布洗浄装置の確認

- 油脂類

オイルの確認・補充、各軸受におけるグリスの確認・補充

- 現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

- その他必要とする事項

○汚泥供給ポンプ

- ポンプ部

電流値・周波数・吐出圧・ポンプの確認、チャッキ弁の確認、グラント部の確認、
封水弁の動作の確認

- 現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

- その他必要とする事項

○薬品供給ポンプ

- ポンプ部

電流値・周波数・吐出圧・ポンプの確認、チャッキ弁の確認、駆動Vベルトの確認、
グラント部の確認

- 現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

- その他必要とする事項

○計装用コンプレッサー

●駆動部

設定動作圧力の確認、モーターの確認、安全弁の確認、駆動ベルトの確認、オートドレーン確認

●その他必要とする事項

○アフタークーラー

●駆動部

異常音・異常振動の確認、冷却ファンの確認、オートドレーンの動作確認

●その他必要とする事項

○計装用空気除湿機

●駆動部

除湿温度・異常温・異常振動の確認、冷媒漏れの確認、冷却ファンの確認、オートドレーンの動作確認

●その他必要とする事項

○ろ液ポンプ

●ポンプ部

電流値・吐出圧・ポンプの確認、チャッキ弁の確認、メカシールの確認、封水弁の動作確認

●油脂類

オイルの確認・補充

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

●その他必要とする事項

○床排水ポンプ

●ポンプ部

電流値・吐出圧・ポンプの確認、チャッキ弁の確認

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

●その他必要とする事項

○ケーキコンベア

●駆動部

電流値・モーターの確認、ベルトローラーの確認、ベルトの状況確認、駆動機構部の確認、非常停止ワイヤーの確認

●油脂類

各軸受部におけるグリスの確認・補充

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

●その他必要とする事項

○粉末自動給粉機（定量フィーダ）

●駆動部

電流値・モーターの確認、駆動チェーンの確認、駆動機構部の確認

●油脂類

チェーンにおけるオイルの確認・補充、その他の必要とするオイルの確認・補充

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認、積算カウンタの確認

●その他必要とする事項

○薬品溶解槽（薬品溶解槽攪拌機）

●駆動部

電流値・モーターの確認、プロペラシャフトの確認、減速機の確認

●油脂類

減速機におけるグリスの確認・補充

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認、積算カウンタの確認

●その他必要とする事項

○汚泥脱水機補機（凝集混和槽攪拌機）

●駆動部

電流値・モーターの確認、プロペラシャフトの確認、減速機の確認、
駆動機構部の確認

●油脂類

減速機におけるオイルの確認・補充、各軸受におけるグリスの確認・補充

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認、積算カウンタの確認

●その他必要とする事項

○脱臭ファン・脱臭塔

●駆動部

電流値・差圧計の確認、モーターの確認、駆動Vベルトの確認

●油脂類

各軸受におけるグリスの確認・補充

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

●その他必要とする事項

○ろ布洗浄ポンプ（急速ろ過棟内）

●ポンプ

電流値・吐出圧力の確認、ポンプの確認、グラント部の確認、モーターの確認

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

●その他必要とする事項

⑥沈砂ポンプ棟施設

○汚水流入ゲート

●バルブコントロール

モーターの確認、モーターブレーキの作動確認、リミットスイッチの動作確認、

バルブコントロールの確認、手動・電動切替クラッチの確認、手動ハンドルの確認

●ゲート

開閉状態の確認、止水状態の確認

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

●その他必要とする事項

○自動除塵機

●駆動部

電流値・モーターの確認、減速機の確認、駆動機構部の確認、脱水機構部の確認

●脱水機構部

脱水機構部の確認

●回転スクリーン

回転スクリーンの確認、減速機グリスの確認・補充、各軸受グリスの確認・補充

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

●その他必要とする事項

○揚砂ポンプ

●ポンプ部

電流値・ポンプの確認、チャッキ弁の確認

●サイクロン部

沈砂分離の状況

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認、積算カウンタの確認

●その他必要とする事項

○汚水ポンプ

●ポンプ部

電流値・周波数・吐出圧・ポンプの確認

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

●その他必要とする事項

○スカム破碎機

●スパローター

電流値・スパローターの確認、吸気の確認、吸気チューブの確認

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

●吊上げチェーン

吊上げチェーンの確認

●その他必要とする事項

⑦最初沈殿池施設

○初沈汚泥ポンプ

●ポンプ部

電流値・吐出圧の確認、ポンプの確認、Vベルトの確認、メカシール部の確認、電動機の確認

●油脂類

オイルの確認・補充

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

●引抜弁

モーターの確認、リミットスイッチの確認、バルブコントロールの確認、手動・電動切り替えクラッチの確認、手動ハンドルの確認

●封水弁

動作確認

●その他必要とする事項

○初沈汚泥掻寄機

●駆動部

電流値・モーターの確認、減速機の確認、掻寄機チェーンフライントの確認

●油脂類

減速機オイルの確認・補充

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認、積算カウンタの確認

●その他必要とする事項

○初沈池排水ポンプ

●ポンプ部

電流値・吐出圧の確認、ポンプの確認、チャッキ弁の確認、Vベルトの確認、メカシール部の確認、電動機の確認

●油脂類

軸受グリスの確認・補充

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

●封水弁

動作確認

●その他必要とする事項

○初沈スカム移送ポンプ

●ポンプ部

電流値・吐出圧の確認、ポンプの確認、チャッキ弁の確認、Vベルトの確認、メカシール部の確認、電動機の確認

●油脂類

軸受グリスの確認・補充

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

- フリクトスイッチ
確認
- 封水弁
動作確認
- その他必要とする事項
- 初沈管廊排水ポンプ
 - ポンプ部
電流値・吐出圧の確認、ポンプの確認、チャッキ弁の確認
 - 現場盤
表示灯の確認、盤内の確認
 - その他必要とする事項

⑧生物反応槽施設

- 生物反応槽攪拌機
 - 駆動部
電流値・周波数の確認、その他の異音・振動等の確認
 - 現場盤
表示灯の確認、盤内の確認
 - その他必要とする事項
- 循環水ポンプ
 - 駆動部
電流値・周波数・吐出圧の確認、ポンプの確認、チャッキ弁の確認
 - 現場盤
表示灯の確認、盤内の確認
 - その他必要とする事項
- ブロワー
 - 駆動部
電流値・周波数・吐出圧の確認、モーターの確認、ブロワー本体の確認、Vベルトの確認
 - 油脂類
オイルの確認・補充、各軸受グリスの確認・補充
 - 現場盤
表示灯の確認、盤内の確認
 - その他必要とする事項
- 脱臭ファン
 - 駆動部
電流値・モーターの確認、Vベルトの確認、軸受け確認
 - 油脂類
各軸受グリスの確認・補給
 - 現場盤
表示灯の確認、盤内の確認

- ドレン管
確認
- その他必要とする事項

○脱臭塔

- その他
差圧の確認

○生物反応槽管廊排水ポンプ

- ポンプ
電流値・吐出圧の確認、ポンプの確認、チャッキ弁の確認
- 現場盤
表示灯の確認、盤内の確認
- その他必要とする事項

⑨最終沈殿池（循環式硝化脱窒法処理設備）

○汚泥掻寄機

- 駆動部
電流値の確認、モーターの確認、減速機の確認、チェーンフライトの確認
- 油脂類
減速機オイルの確認・補充
- 現場盤
表示灯の確認、盤内の確認
- その他必要とする事項

○返送汚泥ポンプ

- ポンプ部
電流値・周波数・吐出圧の確認、ポンプの確認、Vベルトの確認、メカシール部の確認、電動機の確認
- 油脂類
オイルの確認・補充
- 現場盤
表示灯の確認、盤内の確認
- 引抜弁
モーターの確認、リミットスイッチの確認、バルブコントロールの確認、手動・電動クラッチの動作確認、手動ハンドルの動作確認
- 封水弁
動作確認
- その他必要とする事項

○余剰汚泥ポンプ

- ポンプ部
電流値・吐出圧の確認、ポンプの確認、Vベルトの確認、メカシール部の確認、電動機の確認
- 油脂類

オイルの確認・補充

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

●封水弁

動作確認

●その他必要とする事項

○終沈池排水ポンプ

●ポンプ部

電流値・吐出圧の確認、ポンプの確認、チャッキ弁の確認、Vベルトの確認、メカシール部の確認、電動機の確認

●油脂類

軸受グリスの確認・補充

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

●封水弁

動作確認

●その他必要とする事項

○終沈スカム移送ポンプ

●ポンプ部

電流値・吐出圧の確認、ポンプの確認、チャッキ弁の確認、Vベルトの確認、メカシール部の確認、電動機の確認

●油脂類

軸受グリスの確認・補充

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

●フリクトスイッチ

確認

●封水弁

動作確認

●その他必要とする事項

○終沈管廊排水ポンプ

●ポンプ部

電流値・吐出圧の確認、ポンプの確認、チャッキ弁の確認

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

●その他必要とする事項

○PAC注入機

●ポンプ部

ポンプの確認、作動油の確認、モーター部の確認

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

●その他必要とする事項

⑩汚泥濃縮施設

○濃縮スカムポンプ

●ポンプ部

電流値、吐出圧の確認、ポンプの確認、Vベルトの確認、メカシール部の確認、電動機の確認

●油脂類

オイルの確認・補充

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

●その他必要とする事項

○濃縮汚泥ポンプ

●ポンプ部

電流値、吐出圧の確認、ポンプの確認、Vベルトの確認、メカシール部の確認
封水弁の動作確認、電動機の確認

●油脂類

オイルの確認・補充

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

●引抜弁

モーターの確認、リミットスイッチの確認、バルブコントロールの確認、
手動・電動切り替えクラッチの確認、手動ハンドルの確認

●封水弁

動作確認

●その他必要とする事項

○分離液ポンプ

●ポンプ部

電流値、吐出圧の確認、ポンプの確認、Vベルトの確認、メカシール部の確認
封水弁の動作確認、電動機の確認

●油脂類

オイルの確認・補充

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

●その他必要とする事項

○濃縮汚泥掻寄機

●駆動部

電流値の確認、モーターの確認、減速機の確認、駆動機構部の確認

●油脂類

減速機グリスの確認・補充

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

●スカムボックス

バッフルプレート確認

●その他必要とする事項

○汚泥スクリーン

●駆動部

電流値の確認、モーターの確認、減速機の確認、駆動機構部の確認、
レーキ・スクレーパ・ドラムスクリーンの確認、駆動チェーンの確認

●油脂類

減速機オイルの確認・補充、各軸受のグリスの確認・補充

●その他必要とする事項

○スカム分離機

●駆動部

電流値の確認、モーターの確認、減速機の確認、駆動機構部の確認、
レーキ・スクレーパ・ドラムスクリーンの確認、駆動チェーンの確認

●油脂類

減速機オイルの確認・補充、各軸受のグリスの確認・補充

●その他必要とする事項

⑪連絡配管管廊施設

○連絡配管廊排水ポンプ

●ポンプ部

電流値、吐出圧の確認、ポンプの確認

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

●その他必要とする事項

2) 年次4回点検（原則として定期的に年間4回以上行う点検をいう。）

それらの内容を「定期点検（年次点検（4回）記録簿）（仮称）」にとりまとめる。

ア) 対象施設：播磨高原浄化センター

①沈砂池ポンプ棟施設

○汚水流入ゲート

モーター部、バルブコントロール、ゲート本体の確認、その他必要とする事項

○沈砂分離機

沈砂分離の状況確認、沈砂分離機の確認、その他必要とする事項

②最初沈殿池施設（循環式硝化脱窒法処理設備）

○初沈スカムスキマ

連動式スカムスキマの確認、作動の確認、その他必要とする事項

○初沈引抜汚泥濃度計

検出器の確認、制御部の確認、0点調整、その他必要とする事項

③最終沈殿池施設（循環式硝化脱窒法処理設備）

- 終沈スカムスキマ
 - 連動式スカムスキマの確認、作動の確認、その他必要とする事項
- 返送汚泥濃度計
 - 検出器の確認、制御部の確認、0点調整、その他必要とする事項
- ④生物反応槽施設（循環式硝化脱窒法処理設備）
 - DO計（検出器の清掃は適宜）
 - 検出器の確認、制御部の確認、0点調整、その他必要とする事項
 - MLSS計（検出器の清掃は適宜）
 - 検出器の確認、制御部の確認、0点調整、ワイパーアセンブリーの交換（6カ月／回）、その他必要とする事項
 - PH計（検出器の清掃は適宜）
 - 検出器の確認、制御部の確認、0点調整、その他必要とする事項
 - 風量調整弁
 - 電流値の確認、本体の確認、その他必要とする事項
- ⑤急速ろ過池施設
 - 有機モニタUV計
 - 検出器の確認、制御部の確認、0点調整、スパン校正、ワイパーの交換（3～6カ月／回）、その他必要とする事項
 - ろ過池
 - ろ過層厚の測定、その他必要とする事項
- ⑥汚泥脱水処理棟施設
 - ケーキホッパー重量計
 - 検出器の確認、制御部の確認、変換器の調整、その他必要とする事項
 - ろ液貯留液位計
 - 検出器の確認、制御部の確認、0点調整、その他必要とする事項
 - 汚泥貯留量液位計
 - 検出器の確認、制御部の確認、0点調整、その他必要とする事項
- ⑦汚泥濃縮施設
 - 濃縮汚泥濃度計
 - 検出器の確認、制御部の確認、0点調整、その他必要とする事項
- ⑧その他
 - 外灯
 - デイライトスイッチの確認、タイマーの確認、球切れの確認、その他必要とする事項
- ⑨クレーン点検
 - クレーン関係法令に基づく自主点検
 - 電動ホイスト（荷重 1.0t 2基、荷重 0.5t 1基）
- ⑩フロン排出抑制法に伴うエアコン、空気圧縮機簡易点検
- ⑪事務所、水質分析室の照度測定 ※6か月に1回
- ⑫機械換気設備点検 ※2か月に1回

- 3) 年次1回点検（原則として定期的に年間1回以上行う点検をいう。）
それらの内容を「定期点検（年次点検記録簿）（仮称）」にとりまとめる。
- ア) 対象施設：播磨高原浄化センター
- ①オキシデーションディッチ施設
- ディッチ流入量計
検出器の確認、制御部の確認、0点調整、その他必要とする事項
- ②最終沈殿池施設
- PAC貯留液位計
検出器の確認、制御部の確認、0点調整、その他必要とする事項
- ③沈砂池ポンプ棟施設
- ポンプ井水位計
検出器の確認、制御部の確認、0点調整、その他必要とする事項
 - 汚水ポンプ揚水量計
検出器の確認、制御部の確認、0点調整、その他必要とする事項
 - 流入渠水位計
検出器の確認、制御部の確認、0点調整、その他必要とする事項
- ④最初沈殿池施設（循環式硝化脱窒法処理設備）
- 初沈汚泥量計
検出器の確認、制御部の確認、0点調整、その他必要とする事項
- ⑤最終沈殿池施設（循環式硝化脱窒法処理設備）
- 終沈汚泥界面計
検出器の確認、制御部の確認、0点調整、その他必要とする事項
 - 返送汚泥量計
検出器の確認、制御部の確認、0点調整、その他必要とする事項
 - 余剰汚泥量計
検出器の確認、制御部の確認、0点調整、その他必要とする事項
- ⑥生物反応槽施設（循環式硝化脱窒法処理設備）
- 循環水量計
検出器の確認、制御部の確認、0点調整、その他必要とする事項
 - 生物反応槽水温計
検出器の確認、制御部の確認、その他必要とする事項
 - 送風温度計
検出器の確認、制御部の確認、0点調整、その他必要とする事項
- ⑦急速ろ過池施設
- 負荷量演算器
検出器の確認、制御部の確認、0点調整、その他必要とする事項
 - 放流流量計
検出器の確認、制御部の確認、0点調整、その他必要とする事項
- ⑧汚泥脱水処理棟施設
- 空気槽（エアレシーバタンク）

第2種圧力容器点検基準に基づき実施

- (3) 受注者は、保守点検業務内容として記された各機器の点検項目の他に、監督員から点検の追加指示を受けた場合、受注者にて点検が必要と確認した場合、また点検回数を追加しなければならない場合は、監督員と協議の上実施する。
- (4) 保守点検業務のうち、周辺清掃並びに補修ペンキ塗りについて定めるものとする。浄化センター敷地内並びにポンプ施設の周辺の簡易清掃、各水路、トラフ等の清掃、補修ペンキ塗り等の作業をいう。

(水質試験等業務)

第5条 仕様書第26条に係る水質試験並びに汚泥分析試験について定めるものとする。分析内容は、維持管理用検査と排水基準に基づく検査方法に準じた水質試験並びに汚泥分析試験を実施し、データ整理等の作業を含むものとする。

- 2 水質試験・汚泥分析試験に使用する試験器具は発注者より貸与する。
- 3 受注者は、試験器具のうち校正が必要なものについては、適宜校正し貸与された試験器具、薬品、備消耗品を適切に管理保管し、業務外に使用してはならない。使用する薬品、備消耗品の購入については、仕様書第41条にて作成した「手配依頼書（仮称）」にて監督員に依頼する。受注者は、薬品並びに備消耗品の購入の記録、使用した実績を記録した書類を作成し、年度末に提出する年間業務完了報告書にて報告する。

受注者は、貸与された試験器具に故障等不具合が生じた場合、試験器具のメーカー点検が必要な場合もしくは交換が必要な場合は、不具合についての文章を監督員に提出し、不具合が生じた試験器具の水質試験並びに汚泥分析試験の実施方法について協議する。
- 4 維持管理用検査項目（平常検査）に使用する検体は、毎日午前9時から10時までに採水し維持管理用検査を実施する。なお、余剰汚泥、脱水汚泥に係る検体の採取については、発生毎に適宜採取し維持管理用検査を実施する。
- 5 排水基準に基づく検査方法による項目（法定検査に準じる検査）に使用する検体は、コンポジットサンプラーを利用し、4検体検査の採取時間は監督員と協議の上決定し、24検体検査の採取時間は1時間毎に採取出来る様設定する。なお、24検体検査を実施する週は、4検体検査を実施しなくても良い。また、排水基準に基づく検査方法による項目（法定検査に準じる検査）を実施する日は、維持管理用検査項目（平常検査）の平日検査を実施しなくても良い。平日検査においては、3日以上連続して休日が続く場合、年末年始など流入水量の変動が著しく、水処理に影響を与えると想定される場合は、受注者の判断で適宜平日検査を実施し、浄化センターの水処理に影響の無いよう管理する。
- 6 維持管理用検査項目（平常検査）並びに排水基準に基づく検査方法による項目（法定検査に準じる検査）の検体の採取場所は、別添参考図のとおりとする。なお、月1回実施する限見橋（橋梁部）並びに限見橋（上流部）の検査は、発注者が別で委託する「下水道水質検査業務」（仮称）の検査日と同日に採取し、検査する。

7 水質等測定項目と頻度

(1) 維持管理用検査項目（平常検査）

○流入

●毎日検査

水温、PH、透視度

- 平日検査（土曜日・日曜日・祝祭日は除く。）
T-N、窒素化合物、NH₄-N、NO₂-N、NO₃-N、T-P、PO₄-P、COD、SS
- オキシデーションディッチ施設
 - 毎日検査
水温、PH、SV、MLSS、DO
 - 定期検査（2回／週）
MLSS、(ML) VSS
- 生物反応槽施設（循環式硝化脱窒法処理設備）
 - 毎日検査
水温、PH、SV、MLSS、DO
 - 定期検査（2回／週）
MLSS、(ML) VSS
- 最終沈殿池（OD側）
 - 毎日検査
水温、PH、透視度
 - 平日検査（土曜日・日曜日・祝祭日は除く。）
T-N、窒素化合物、NH₄-N、NO₂-N、NO₃-N、T-P、PO₄-P、COD、SS
- 最終沈殿池（循環式硝化脱窒法処理設備）
 - 毎日検査
水温、PH、透視度
 - 平日検査（土曜日・日曜日・祝祭日は除く。）
T-N、窒素化合物、NH₄-N、NO₂-N、NO₃-N、T-P、PO₄-P、COD、SS
- 放流
 - 毎日検査
水温、PH、透視度、残塩
 - 平日検査（土曜日・日曜日・祝祭日は除く。）
T-N、窒素化合物、NH₄-N、NO₂-N、NO₃-N、T-P、PO₄-P、COD、SS
- 返送汚泥（オキシデーションディッチ施設）
 - 毎日検査
SV
 - 定期検査（2回／週）
MLSS、(ML) VSS
- 返送汚泥（循環式硝化脱窒法処理設備）
 - 毎日検査
SV
 - 定期検査（2回／週）

MLSS、(ML) VSS

○余剰汚泥（オキシデーションディッチ施設）

●発生時に（1回／週）

（ML）VSS、含水分

○余剰汚泥（循環式硝化脱窒法処理設備）

●発生時に（1回／週）

（ML）VSS、含水分

○脱水汚泥

●汚泥脱水機稼働時（その都度実施）

（ML）VSS、含水分

（2）排水基準に基づく検査方法による項目（法定検査に準じる検査）

○流入

●週1回の検査（4検体検査）

水温、PH、BOD、COD、SS、T-N、窒素化合物、NH₄-N、NO₂-N、
NO₃-N、T-P、PO₄-P

●年4回の検査（24検体検査）

PH、COD、SS、T-N、窒素化合物、NH₄-N、NO₂-N、NO₃-N、
T-P、PO₄-P

●隔週1回の検査

大腸菌

○放流

●週1回の検査（4検体検査）

水温、PH、BOD、COD、SS、T-N、窒素化合物、NH₄-N、NO₂-N、
NO₃-N、T-P、PO₄-P

●年4回の検査（24検体検査）

PH、COD、SS、T-N、窒素化合物、NH₄-N、NO₂-N、NO₃-N、
T-P、PO₄-P

●隔週1回の検査

大腸菌

○隈見橋（橋梁部）

●月1回の検査

水温、PH、BOD、SS、T-N、T-P

○隈見橋（上流部）

●月1回の検査

水温、PH、BOD、SS、T-N、T-P

※窒素化合物とは、アンモニア、アンモニア化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物をいう。

8 水質検査結果の報告は、原則として翌日の午後1時30分までとする。なお、様式については、監督員と協議のうえ「水質検査結果報告書（仮称）」を作成し、変更がある場合においても同様のこととする。

9 「水質検査結果報告書（仮称）」は、仕様書第39条の「月間業務完了報告書」に添付し、発注者に提出する。

(その他の業務)

第6条 仕様書第28条に定めるその他の業務について定めるものとする。業務上必要な薬品、消耗品等について補充する必要がある場合、「消耗品購入依頼書(仮称)」を仕様書第41条に基づき作成し監督員に報告する。

(その他の技術業務)

第7条 仕様書第29条に定めるその他の技術業務に係る休止施設の点検業務並びに、年次整備計画業務について定めるものとする。その他の技術業務を実施するにあたり、次の第4項第1号及び第2号に基づき、「各種定期点検記録簿(仮称)」を仕様書第41条に基づき作成し監督員に報告する。同様に、「下水道設備点検結果報告書(仮称)」を作成し、異常等特筆すべき内容並びに監督員から特に指示があった事項についてはその都度、監督員に報告する。

2 「下水道設備点検結果報告書(仮称)」にて報告した内容により仕様書第24条第2項に基づく簡易な故障修理を実施する。実施した内容については、「下水道設備修理結果報告書(仮称)」を仕様書第41条に基づき作成し、監督員に提出する。なお、他業者(機械・電気設備等製造業者・専門業者等)による調整が必要と認められるもの、監督員から別の指示があるものについては、仕様書第24条第2項に基づく簡易な故障修繕は実施しない。「下水道設備点検結果報告書(仮称)」にて報告した内容により、仕様書第24条第2項に基づく簡易な故障修理を実施するにあたり、必要な材料、部品、資材等については、「手配依頼書(仮称)」を作成し監督員に提出する。

3 その他の技術業務にて実施した内容は、仕様書第39条の「月間業務完了報告書」に添付し発注者に提出する。なお、その都度、監督員に提出する「下水道設備点検結果報告書(仮称)」並びに「手配依頼書(仮称)」は除くものとする。

4 その他の技術業務の内容

(1) 休止施設の点検業務(浄化センター内)

休止施設の点検業務について定めるものとする。各施設の状況を把握し、稼働施設が破損等により長期にわたり使用不能となった場合に備え月1回以上を標準に以下に記す点検を実施する。

1) 月例点検(原則として毎月1回以上行う点検をいう。)

それらの内容を「定期点検(月例点検記録簿)(仮称)」にとりまとめる。

①オキシデーションディッチ施設(1号槽を対象)

○曝気機

●駆動部

電流値・周波数(高速時)・モーターの確認、駆動チェーンの確認、減速機の確認
駆動機構部の確認

●油脂類

減速機のオイルの確認・補充、チェーンバスオイルの確認・補充、
各軸受グリスの確認・補充

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

●その他必要とする事項

②最終沈殿池施設(1号槽)(OD法処理設備)

○汚泥掻寄機

●駆動部

電流値・モーターの確認、減速機の確認、駆動機構部の確認

●油脂類

減速機のグリスの確認・補充、各軸受のグリスの確認・補充

●現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

●その他必要とする事項

(2) 年次整備計画分（ポンプ施設の定期点検、下水道管の清掃含む）

1) 浄化センター年次整備計画

各年度に別紙1 その他の技術業務（年次整備計画分）の作業内容に記す機器の消耗部品の交換を実施する。交換後、動作確認を実施する。

2) ポンプ施設の定期点検業務

施設及び内容を機器並びに設備の損傷、状況を把握し、修理、修繕等の保全計画を立てるため、月2回以上の回数を標準に点検を実施する。

①マンホールポンプ（2回/月）

○ポンプ部

電流値・吐出圧の確認、ポンプの確認、チャッキ弁の確認

○現場盤

表示灯の確認、盤内の確認

○その他必要とする事項

※詰まり等ある場合は、引き上げ清掃すること。

3) 下水道管路清掃業務

下水道管路の清掃並びに土砂揚を実施する。

○2号下水路放流口

（1回/月）

○インターチェンジ下マンホール

（2回/年）

（立会業務）

第8条 仕様書第29条第4号に係る立会業務について定めるものとする。

2 仕様書に定めるストックマネジメントにおける調査や改築工事のための準備等に必要な作業は、以下の通りとする。

（1）水槽等の水抜き作業

（2）水抜き後の清掃作業

（3）脚立等の設置作業

（4）送風機の設置による換気作業

（5）施設の運用方法、切替

（6）保守点検業務や運転操作監視業務における管理データの提供

（7）その他必要な作業

3 立会業務の結果は、その都度監督員に報告し、仕様書第39条の「月間業務完了報告書」に添付する。

- 4 本条に係る業務は、年間15回を標準とし1回あたりの時間は2時間を標準とする。
- 5 前項の他に発注者が実施する作業の補助を依頼することがある。その場合、受注者はこれに応じなければならない。
- 6 受注者の立会業務における対応が、年間を通し明らかに増となる場合は、その取り扱いについて、受注者より発注者に対し協議することができる。

(下水道施設非常通報システムの対応)

第9条 仕様書第29条第5号に係る下水道施設非常通報システム（以下「非常通報システム」という。）の対応について定めるものとする。

- 2 受注者の勤務時間外における非常通報システムの受信、初期対応並びに発注者への連絡業務とする。
- 3 非常通報システムにより通報があった際は、受注者は、速やかに監視装置等により状況を確認する。また、対応が必要な場合は、各現場に赴き応急復旧等必要な最低限の対応を実施する。
ただし、状況確認の結果受注者では対応できない場合及び、重大な不具合に伴う等緊急性を有する場合は、監督員に連絡しその指示に従うこと。実施した内容については、仕様書第41条に基づき「下水道非常通報システム対応記録報告書（仮称）」を作成し、対応した内容を記入した上で報告する。
- 4 応急措置等最低限の対応後の対応については、勤務時間内に仕様書第24条第2項に基づき状況確認を実施する。
- 5 受注者は、前項の状況確認により対応が出来る場合、仕様書第24条第2項に基づき監督員と協議し、簡易な修繕として実施する。
- 6 前項に係る修繕や必要な材料、部品、資材等については発注者の負担とするが、カメラ、工具類、安全対策器具を含む備消耗品については受注者の負担とする。
- 7 本条第5項の結果により、受注者にて修理、部品交換を実施した場合の報告は、仕様書第24条第2項第3号に基づき「下水道施設作業報告書（仮称）」に記入し監督員に報告する。
- 8 非常通報システム対応に係る各種条件並びに内容は以下のとおりとする。
 - (1) 受注者の勤務時間外とは、勤務時間午前8時30分から午後5時15分を除くものとする。
 - (2) 本条第3項に定める最低限の対応とは、予備機等があるものについては、予備機への切替、その他については、簡易な作業で応急復旧が可能な範囲のものとする。事故等がないよう十分留意すること。
 - (3) 非常通報システムからの受信内容並びに対処内容を非常通報システム対応毎に速報として報告する。また各月の末に集計し、仕様書第39条の「月間業務完了報告書」に添付する。
 - (4) 非常通報システム対応は、播磨高原広域事務組合上水道施設及び下水道施設の維持管理業務にて配属される受注者の職員で構成する。
 - (5) 非常通報システム対応は、受注者において当番制として担当者を決定することが出来る。その担当者の氏名、緊急連絡先を監督員に対し仕様書第39条の「月間維持管理計画書」に添付しなければならない。ただし、発注者が非常通報システム対応の担当者として不適格と認めた場合は、発注者が担当者の交代を指示することができ、受注者はこれに応じなければならない。
 - (6) 受注者の勤務時間外における電話受信回数は、1年間当たり3回を標準とし、1回当たりの当該施設の状況確認並びに応急復旧等必要な最低限の対応に要する作業時間は2時間程度（自宅等から事務室等の移動時間は除く）とする。
 - (7) 受注者の勤務時間外における非常通報システム対応の担当者は、常に受信、対応業務、発注者へ

の連絡ができる体制をとらなければならないが、特に活動の制限を設けるものではない。

- (8) 受注者の時間外における非常通報システム対応が年間を通し明らかに増となる場合は、その取扱について、受注者より発注者に対し協議することができる。なお、受注者の不注意等により非常通報システム対応を実施した場合は除くものとする。

(上下水道事業所時間外及び休日における電話受付・連絡業務)

第10条 仕様書第29条第6号に係る上下水道事業所時間外及び休日における電話受付・連絡業務について、定めるものとする。

- 2 発注者の時間外及び休日における電話受付並びに発注者の各担当者（以下「担当者」という。）への事務連絡を実施する業務とする。料金関係等に関すること並びに、上下水道施設に関することを電話で受付し、発注者に対し受付した内容を直ちに連絡する。

電話受付により受けた内容並びに対応状況を各月の末に集計し、仕様書第39条の「月間業務完了報告書」に添付する。

- 3 各種条件は以下の通りとする。

- (1) 電話受付並びに担当者に対する連絡は携帯電話を使用し、組合が1台貸与する。その携帯電話に係る、月額料金、利用料についての費用は、発注者が負担する。
- (2) 貸与する携帯電話は、受注者にて適正に管理し、私的に利用することは禁止する。
- (3) 電話受付者は常に電話受付並びに担当者への連絡ができる体制をとらなければならないが、特に活動の制限を設けるものではない。
- (4) 発注者の時間外並びに休日とは、日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日並びに、12月29日から翌年1月3日までの日とし、また、発注者の時間外とは、休日を除く職員の勤務時間午前8時30分から午後5時15分を除くものとする。
- (5) 電話受付回数は、1年間当たり1回を標準とする。
- (6) 電話受付者は、播磨高原広域事務組合上水道施設及び下水道施設の維持管理業務にて配属する受注者の職員で構成する。
- (7) 電話受付者は受注者において当番制として決定することが出来る。その受付者の氏名、緊急連絡先を、監督員に対し仕様書第37条に定める「月間維持管理計画書」に添付しなければならない。
ただし、発注者が電話受付者として不適格と認めた場合は、発注者が受付者の交代を指示することができ、受注者はそれに応じなければならない。
- (8) 電話受付業務が年間を通し明らかに増となる場合は、その取り扱いについて受注者より発注者に対し協議することができる。

(その他の部品・消耗品等)

第11条 受注者は、本特記仕様書に記されたもの以外に本業務委託範囲にて取替・交換が必要な部品・消耗品等が発生した場合は、仕様書第41条にて作成した「手配依頼書（仮称）」にて必要とする部品・消耗品等を依頼する。部品・消耗品納入後、受注者にて部品・消耗品等の交換を実施する。費用負担については、仕様書第24条第2項第2号のとおりとする。

- 2 前項に係る結果については、仕様書第39条の「月間業務完了報告書」に添付する。

(疑義)

第 1 2 条 本特記仕様書に疑義が生じた場合又は、定めのない事項が生じた場合は、発注者、受注者協議の上定めるものとする。

(雑則)

第 1 3 条 本特記仕様書に明記されていない事項であっても、維持管理上当然必要な業務等は、良識ある判断に基づいて行わなければならない。

2 当該業務にかかわる資料の提出を、発注者が要求した場合は、速やかに応じなければならない。